

# 食物アレルギーにおける予防と対応

## 緊急時の対応

### 発見者＝観察

子供から離れず観察  
助けを呼ぶ  
緊急性の判断  
エピペン®、AEDの  
指示

アレルギー症状がある  
(食物の関与が疑われる)

原因食物を食べた  
(可能性を含む)

原因食物に触れた  
(可能性を含む)

呼びかけに反応がなく、  
呼吸がなければ心肺蘇生

## 緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断

### <緊急性が高いアレルギー症状>

- 全身の症状
- ぐったり
  - 意識もうろう
  - 尿や便を漏らす
  - 脈が触れにくい
  - 唇や爪が青白い

### 呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるようなせき
- 息がしにくい
- 持続する強いせき込み
- ゼーゼーする呼吸  
(ぜん息発作と区別できない場合を含む)

### 消化器の症状

- 我慢できない腹痛
- 繰り返し吐き続ける



これらの症状が  
一つでもあれば

## チームワークが大切

### 準備

- 緊急時の対応の準備
- エピペン®の準備
- AEDの準備

### 連絡

- 救急車の要請
- 管理職を呼ぶ
- 保護者への連絡

### 記録

- 観察を開始時間
- エピペン®を使用した時間
- 5分ごとの症状
- 内服薬を飲んだ時間

### その他

- ほかに子供への対応、救急車の誘導

- 救急車を要請(119番通報)
- ただちにエピペン®を使用
- 反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う → AEDの使用
- その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない!**

安静を保つ体位



ぐったり、意識もうろうの場合 : 吐き気、おう吐がある場合 : 呼吸が苦しくあお向けになれない場合

- その場で救急隊を待つ

## エピペン®の使い方

① ケースから取り出す



② 利き手でグーで握る



③ 青い安全キャップを外す



④ 太ももの外側に注射「カチッ」と音がするまで押し当て、五つ数える



本人が注射できない場合  
衣類の上から打つことができる  
ポケットの中身を確認



⑤ オレンジ色のニードルカバーがのびていることを確認する



使用前 使用后

※アドレナリン自己注射薬をエピペン®と表記